

はあもに

Harmony

To Women
For Women
and By Women

第10号
2023年5月発行

特集 働く女性

～妻として、母として、リーダーとして～

対談 ロザリー・ペドル中将

ウェンディ・モーリス大佐

祈りの部屋
賛美の祈り

子育てのヒント
「できる」「できない」ではない、
「育つ」を見つめるまなざし



いかに幸いなことでしょう
あなたの家に住むことができるなら
まして、あなたを賛美することができるなら。
聖書 詩編84編5節

BLESSED ARE THOSE WHO **dwell**
IN YOUR HOUSE;
THEY ARE EVER **praising** YOU.
PSALM 84:4 NIV

はあもに

第10号 もくじ

特集 働く女性

4 妻として、母として、リーダーとして

対談 □ザリー・ペドル中将
ウエンディ・モリス大佐

10 わたしのストーリー

与えられた命、与えられた役割
児玉恵さん

12 ことばをどげろ

バイブルメッセージ
人を通して働く神様の恵み
鈴木真理子

14 祈りの部屋

賛美の祈り

16 子育てのヒント

「できる」「できない」ではない、
「育つ」を見つめるまなざし
救世軍菊水上町保育園

18 はあもにニュース

国際女性デー
『この時のためにこそ』出版案内
プレゼント企画

19

はあもに広場

夫婦や親子の関係あるあるトーク
『はあもに』定期購読のご案内

社会に出て働くようになって
必死で仕事を覚えて
家に帰っても勉強して
やっと仕事をまかせられるようになって

結婚して妻になって
子どもが生まれて母になって
慣れたはずの仕事も、
育児に追われてうまくできなくなって
子どもの成長に合わせて
家事も仕事もやりくりするようになって

子どもが巣立ったと思ったら
親の介護が待っていて
孫が生まれておばあちゃんになって
夫婦で歳をとって
病気と闘ったり、それが生活の一部になったり

女性として生きるって
ホントに忙しい
でも、ほんのちょっぴり誇らしい

はあもに

Harmony

『はあもに』はすべての女性のために
つくられた雑誌です



妻として、母として、リーダーとして



ロザリー・ペドル中将

万国女性部会長

ウエンディ・モーリス大佐

日本軍国女性部会長

ロザリー 夫とは士官学校で出会いました。私が2年生だった時、彼が1年生として入学してきました。彼はとてもハンサムで、使命に対して情熱をもっていました。私は彼のイエス様に対する愛と人々に対する熱意とリーダーとしての資質に惹かれました。彼が部屋に入ってくるとその場がパツと明るくなるような笑顔も好きになりました。

ウエンディ 結婚する前と後では何か違いはありましたか？

ロザリー 士官学校での訓練を終えて、結婚前に2年間だけ独身士官として働きましたが、その時に心から支え合える人がいたことは本当に幸いだったと思います。そしてその2年間の経験は、私にとって士官として成長するために必要な形成期間だったと思います。ですから、結婚生活への移行自体はそんなに難しくありませんでした。子どもたちが生まれてからは、親としての責任を果たしながら、お互いにもっているスキルや賜物を尊重し合って、夫婦としても仕事のパートナーとしてうまくやっていたと思います。

ウエンディ お話をお伺いする機会が与えられて感謝します。ロザリー中将は18歳の時に神様に従う道を選び、40年以上士官（伝道者）として歩いてこられたのですね。

ロザリー はい。子どもの時から救世軍で礼拝を守っていた私は、救世軍がとても好きでした。15歳の時に士官としての召命（神様からの呼びかけ）を感じて、生涯を通してこれをやりたいと思っています。16歳で学校を卒業し、2年間働いて士官学校に入りました。

ウエンディ 大佐は士官になって何年になりますか？

ウエンディ 私は30年です。私も、子どもの頃から教会に行くのが大好きで、いつか士官になるのだ、と思っていました。大学を卒業した後は銀行員として働いていましたが、大学時代から付き合っていた夫と24歳で結婚して、士官学校に入りました。

ブライアン・ペドル 大将とは、いつ出会われたのですか？

ウエンディ 妻として、母として、伝道者として歩まれる中で、神様が様々な経験をさせてくださったことと思います。

私は、独身で銀行員として働いていた時よりも、夫婦として仕事をしていくことが難しいと感じました。士官になっても、2人とも慣れない仕事に夢中で取り組んで、他の人々を優先していたばかりに、夫婦の時間や娘との時間を大切にできていませんでした。まだ娘が幼い頃です。ある時、夫婦関係がとても疲れていることに気付きました。そして、新しい任地へ引っ越しになり、そこで神様は夫婦の関係を癒す時間と、娘のために費やす時間を与えてくださいました。一生懸命家族を大事にすれば、他の人々を大事にする方法を神様が教えてくださるとわかりました。結婚はいろいろな努力が必要ですが、まず夫婦を優先して、神様の喜ばれる結婚生活を送ることが大切だと、失敗や試練を通して学びました。



救世軍万国女性部
公式ホームページ
はこちら



公式Facebook
「はあもに」はこちら



救世軍
女性の働き

救世軍における女性の働き

1865年にイギリス東ロンドンで救世軍が創立してわずか10数年後、性産業の被害にあっていた10代の少女たちをかくまい世話をしたことをきっかけに、女性のための支援の働きが開始されました。この活動はシェルターや産科病院の働きへと発展し拡大していきました。

1907年に始められた「既婚女性と母親たちの集い」は「家庭団」として世界規模の組織に成長し、時代の変化に合わせて現在では「女性の働き」としてあらゆるニーズに応えるための活動が世界各地で行われています。ロンドンの本部に万国女性部があり、万国女性部会長をリーダーとして、世界各地の女性の働きをリードしています。

日本においては1895年に救世軍の働きが始まり、1905年には婦人会の名称で女性のための集会が行われていました。

現在日本では、軍国女性部会長をリーダーとして、雑誌『はあもに』の発行をはじめとした女性の働きが行われています。全国各地の小隊（教会にあたる）では、「家庭団」や女性たちが集まり励まし合うグループの活動があります。





はあもに広場に投稿して下さる「はあもにすと」を募集中。下記お問合せメールまで、感想などを書いてお送りください。ただしプレゼントキャンペーン中♡(詳しくはP.18に)

夫婦や親子の関係あるあるトーク

男ですけれど、『はあもに』の大ファンです。1月号で特に心に響いたのは特集「夫婦の回復」の中で「妻は愛されるともっと夫のためにしてあげたい」と思い、ここに良い循環が生まれます」という一文でした。車でも2年に一度車検があるように、夫婦間でも親子間でも定期的なメンテナンスを怠ると悲惨な重大事故を招きかねないので、要注意だと思えます。



はあもにニュース Harmony News



万国女性部の働き 国際女性デー2023.3.8!

左下のQRコードから展示会と女性たちの体験談を観ることができます(開いたページ右上の「翻訳」を押すと日本語で読むことができます)

国際NGOである救世軍では3月8日の国際女性デーを祝い、女性の働き新たなスローガンを発信しました。

①誰でも医療サービスを受けられるようにすること。女性の健康についてのより良い理解を広めること。

②教育や能力開発の機会を増やし、そのスキルと労働力に対して公正な報酬を与えること。

③女性と少女に対する暴力の撤廃に尽くすこと。

イギリス・ロンドンにある万国本営では、このための展示会が開催され、「海の水位は上がっている、私たちも立ち上がる」というテーマで、たくさんの体験談が共有されました。それぞれのストーリーは、各国の救世軍に属する33人の女性たちが、どのように困難を乗り越えて立ち上がったかを伝えていきます。その中に、日本から、児玉恵さんの体験談も掲載されました。(10ページ「わたしのストーリー」をご覧ください)



家事は分担?

私のほうが遅く帰るとご飯を作ってくれる夫だが、やってあげた感が言葉の端々に…。(そもそも妻がやるのが当たり前と思っっている時点で全然平等じゃない!)と思いがちながらも、笑顔で「ありがとう」と言う私。

小学生の娘とパパのとおる会話

「パパ、ちよつと来て。」「ごめん、今ちよつと手が離せない! ママに頼んで。」「…。じゃ、いいや。」

察する能力

夫婦で長年一緒にいると、一瞬の表情や目の動き、声のトーンで、相手が今何を感じたのか、考えたのか、嫌でも察してしまう。でも、察することができるようになって「あ、これ以上言わないようにしましょう」というブレキになったり、相手の好きなコーヒーを淹れてあげようと思えたり、けっこう役に立っている。そして、すごい能力を身につけたもんだと、少し勝ち誇った気分になる。

洗濯物

上着、シャツ、くつ下:何でも脱ぎっぱなしの子どもたち。家中に散らばるものを拾い、集めて歩くのは私。脱いだ物は勝手に洗濯機に入るわけじゃないのヨ!

傷つけ合うこともあるけれど

人生のパートナーとして、これからやんわりやっていきましょ。

美容院

やっと4か月ぶりに髪をカットし、カラーリングした。うきうきしながら帰ってきた父に「どうお？」とポーズを取った。父「ん? 何が?」私「え! わかんない? よく見て!」父「えーと…、何?…」あーあ、高い美容院だったのに。

頼むタイミング

一人で家事に任せてこ舞いしている時、イライラしたままだもたちに家事の手伝いを頼むと、いやあな空気が流れる。なので、タイミングが重要。「お母さん、お腹空いた。」「チョコパンあるから食べていいよ。その後、お風呂洗ってくれる?」と頼むと、気持ちよく引き受けてくれる。ギブアンドテイク。心の中では、(タダでは食べさせないよ)と思いがち。笑

もう読みましたか?

2022年日本における女性の働き100周年を記念して 女性の働きを代表する「フローレンス・ブース」の物語が出版されました



「この本から読者の皆さんには、単なるエンターテインメント以上のものを読み取っていただけることを心から願っています。この本は、フローレンスのように、自分の周りの人々の苦しみや絶望に心の底から同情する人々がいることの証しとして、また、年齢にかかわらずそのような人々が今も戦いを続けようとしていることを覚えて備えられた本です。」 ヘレン・クリフトン中将(出版当時万国女性部会長)による序文より抜粋



この時のためにこそ
若きフローレンス・ブースの物語
ジェンティ・フェアバンク著

若くして救世軍に身を投じ、ラムエル・ブースの妻として重責を担ったフローレンス。現在に至る救世軍の働きがどのような過程を経て進められ、フローレンスをはじめ女性たちがどのように関わったかが描かれている。救世軍の創業期の息吹を伝える好著。

A5判 160ページ
定価600円+税

PRESENT
プレゼント企画

「はあもにすと」大募集!
『はあもに』の感想やあなたの声を届けてください
新規登録して下さった方に、もれなく『この時のためにこそ』を1冊プレゼント

右のQRコード、またはメール・はがき・FAXで左ページのお問合せ先へご応募ください。
『はあもに』の感想も併せてお寄せください。
(2023年7月15日 〆切)

次号は2023年9月発行

『はあもに』定期購読のご案内
* 売上の一部を「きずな献金」として海外支援に用います

定期購読料	1冊200円(税込・送料別) 年間3回(1月、5月、9月)発行 合計600円(税込・送料別)
-------	--

ぜひ定期購読をお近くの救世軍へお申し込みください

お問合せ

救世軍本営 女性部はあもに係 (QRコード右)
TEL: 03-3237-0881 (代) FAX: 03-3237-3588
E-mail: jpn.women.harmony@jpn.salvationarmy.org
Address: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17

発行日 2023年5月1日 はあもに第10号
定価 200円(税込・送料別) 年間3回発行
発行所 救世軍本営 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
TEL: 03-3237-0881

発行者 スティーブン・モーリス
編集責任者 ウェンディ・モーリス
編集者 西村和江 石川芳子 平本征子 齋藤恵子 関根悦子
田中民(グラフィックデザイナー)
創立者 ウィリアム・ブース
大将 ブライアン・バドル

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会
©本誌掲載の記事・写真・イラスト等の無断転載・使用を禁じます

救世軍は、キリスト教(プロテスタント)の教会で、伝道活動とともに、様々な問題で苦しみ、助けを求めている人々のために、130以上の国と地域で社会福祉・教育・医療などの支援を行っています。
救世軍について詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.salvationarmy.or.jp>